

NEWS RELEASE

平成 22 年 3 月 8 日
市光工業株式会社
ICK1002

市光工業株式会社 グループ保有の不ニダイカスト製作所の全株式を南真化学工業に譲渡

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：河島 一夫、以下 市光工業）は、本日開催の取締役会において、同社の連結子会社である株式会社不ニダイカスト製作所（所在地：埼玉県児玉郡美里町、代表者：岸 昇、以下 不ニダイカスト）の全株式を、南真化学工業株式会社（所在地：神奈川県川崎市多摩区、代表者：高橋 通夫、以下 南真化学工業）に譲渡することを決定しました。

不ニダイカストは、自動車用ランプ・ミラー・ワイパー向けのアルミ・亜鉛ダイカスト製品の製造を中心に事業を展開しており、1971 年から市光工業が資本参加、発行済株式の 84%にあたる 105,000 株を市光工業が、16%にあたる 20,000 株を市光工業の連結子会社であるピア株式会社（本社：世田谷区池尻、代表取締役社長：前川 真一郎、以下 PIAA）が所有していました。この度市光工業では、ダイカスト部品製造のアウトソース化を図り、経営資源をさらに集中していくため、同社グループで保有する全株式を、AV、OA 機器関連部品の設計、製造および販売を手がける南真化学工業に譲渡する基本合意書を締結しました。

今後、平成 22 年 3 月末日までに、不ニダイカストの発行済株式の 80%にあたる 100,000 株、さらに平成 25 年 3 月末日までに、発行済株式の残り 20%にあたる 25,000 株を、南真化学工業が市光工業及び PIAA から取得する予定です。なお、譲渡価額は、1 株あたり 2,960 円です。

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正部品専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、水銀フリーHIDヘッドランプや次世代の光源として注目されているLEDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで21%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2008年実績）。

<不二ダイカストとは>

株式会社不二ダイカスト製作所は、東京都大田区にて1949年に創業。1971年に、市光工業が資本金6,250万円で資本参加しました。自動車用ランプ・ミラー・ワイパー向けのアルミ・亜鉛ダイカスト製品の製造を手がけ、従業員数45名、2008年度の年間売上実績は約17億6,000万円です。

<南真化学工業>

南真化学工業株式会社は、1973年に設立され、AV、OA機器等エレクトロニクス車載・光学機器関連部品の成形・金型・組立に伴う設計、製造及び販売を行っています。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL：03-3443-7211

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL：03-3443-7211
(株)VAインターナショナル
田中／亀有
TEL：03-3499-0016
FAX：03-3499-0017